

令和4年度「横浜都心部コミュニティサイクル事業「baybike（ベイバイク）」に関するアンケート」 集計結果の活用状況

アンケートテーマの担当部署が、アンケート結果をどのように受け止めたのか、事業にどのように活用しているのかなど、集計結果の活用状況をご紹介します。

1 アンケート結果の事業等への活用状況

Q12の「事業を続けていくにあたり、横浜市は「baybike（ベイバイク）」に対してどのようにかかわっていくべきと思いますか。」に対する回答が、今後事業を進めて行く際の参考になりました。ご回答いただいたアンケート結果は、令和6年度以降の事業展開を見据えた、事業実施方針を作成する際に活用させていただきます。

2 アンケートを実施した感想

Q9の「今後、横浜市が「baybike（ベイバイク）」を続けていくことについてどのように思いますか。」に対する回答において、「ア 賛成」、「イ どちらかといえば賛成」との回答が74.5%もあったことから、ベイバイクをご支持頂いていると認識することができました。ただ、Q8の「コミュニティサイクル（シェアサイクル）の安全性について、課題であると感じる選択項目を選んでください。」に対する回答から、多くの方が自転車利用者のマナーやモラル、歩行空間への自転車のあふれなどについて危惧していることを改めて把握することができました。

3 担当部署のeアンケートメンバーへのメッセージ

このたびは、アンケートにご協力いただきありがとうございました。

横浜都心部コミュニティサイクル事業（baybike）に関する率直なご意見をいただくことができ、大変参考になりました。

横浜都心部コミュニティサイクル事業は、横浜都心部における利便性、回遊性を高め、まちの魅力向上や観光振興、低炭素化に寄与する取組として、サイクルポートの拡充などの利用促進に取り組んでおり、令和3年度末時点で登録者数が178,000人、1日の平均利用回数が約3,100回と、コロナ禍においても登録者数及び利用回数ともに大幅に増加しています。

今後は、令和5年度末に事業期間が満了することを見据え、令和6年度以降も継続して質の高いサービスが提供できるよう、新たな事業展開の検討を進めていきます。

担当：都市整備局都市交通課

ヨコハマ e アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。